



えひめ国体に向けマレーシア遠征

えひめ国体に向けての強化を図る為に、県協会の強化練習として計画されたマレーシア遠征。選抜された右表の強化選手とコーチ陣が参加しました。平成25年12月25日から31日までの7日間の遠征期間で、参加した選手やコーチ陣は貴重な経験値を得てきました。

練習は、スランゴール州ゴンバ町ユーケープルダナにあるミスボン・プライベート体育館にて行われました。現愛媛県専属コーチである、イズアン・イブラヒーム氏もこの体育館で指導を仰ぎ、練習していました。

その指導者、ミスボン=シデク氏を紹介します。

ミスボンはマレーシアの国民的英雄で知らない者はいないほどである。マレーシアバドミントンの象徴のような存在で、あたかもバドミントン=ミスボンとしてマスコミでは捉えられている感じである。

ミスボンの意外性のあるショット、トリッキーなショットは観客を魅了し、マレー民族の誇りとまで言われるようになり、マスコミで騒がれた。彼はある時は仙人刈、ある時はモヒカン刈にするなど、ビジュアル的にもスター性があり、また、気を取り込む呼吸法などでも観客を惹きつけた。

選手を引退した現在は、世界トップ選手、リー・チョンウェイを支える司令塔として、プロバドミントンチーム『ヌサ マハスリ』を主宰している。また、弟のラシド=シデク、ロスリン=ハシム、ハフィズ=ハシム、などの世界のトップスターとなった選手たちを育ててきた。(濱中彰)

そのミスボン氏に指導を仰ぐべく開催された、今回の遠征の概要や特徴を、当協会常務理事であり、強化指導コーチでもある田坂厚司さんに尋ねた。

イズアン・イブラヒーム	専属コーチ
徳永 督	国体少年男子監督
田坂 厚司	強化指導コーチ
三谷 英生	強化指導コーチ
西野 勝志	新田高
菅 真衣子	新田高
中川 正麻	小野中
平塚 紫央	愛大付属中
横山 滯	松山東中
渡部 晶太	重信中
曾我部 祥多	中萩中



田坂厚司(39歳)

高校からバドミントンをはじめた県内トップ選手。グランドチャンピオンシップでも歴代最多の優勝回数を誇る。近年まで愛媛県国体選手として数回の国体に出場。現在は、えひめ国体に向けてのターゲット・エイジ強化事業に取り組んでいる。

Q1. マレーシアに行くことになって思ったことや意気込みや気持ちはいかがでしたか？

世界チャンピオンを育てたミスボン・シデク氏の指導方針やその練習環境、生活環境を体験したいと思いましたね。私自身は、現在も選手と指導者という両面からバドミントンに接しているので、選手の立場でシャトルを受け、どんなタイミングでシャトルを捕らえる必要があるのか、また指導者の立場で、コート内を把握し、自分に足りない指導概念やノック技術を少しでも習得し、持ち帰りたいと思いました。

Q2. マレーシアでの練習の感想はいかがでしたか？

練習時間が午前と午後に分かれており、朝早くて昼の休憩が長いのが特徴ですね。お昼休みは、ゆっくり休めて昼寝等をする時間も作れます。そこで、各選手なりの気持ちのリセットができ、後の練習の集中力にもつながるのだろうと思いました。

日本と違い意外だと感じたことは、ウォーミングアップの時間や種類が少ない事ですね。

筋肉の温度を上昇させるランニング等のウォーミングアップは日本と変わらず行いますが、ストレッチ等の筋肉を伸ばすような動作のウォーミングアップは少ないと感じました。

言い換えれば、怪我をしないようなケアを練習が始まる時間外で自分自身で行うのは、トップ選手であれば必然の事ということなのかもしれません。

ウォーミングアップも終わり、実際にシャトルを打ちますが、球種が決められた、一般的に言う『基礎打ち』と呼ばれるものは無く、より実践に近いフリー形式でウォーミングアップが行われました。

要するに、お互いに、何でも適当に打つという作業です。そんな練習の中で、遊び心を出し、自分の苦手なストロークを多く打つ選手も居ます。何より、どんな状況下でも、シャトルをネットの反対側に返すという、バドミントンのルールを実践していると感じました。

これが、ラケットとシャトルの接点の発見につながり、素晴らしいラケットワークが身に付くのだと感じました。さらには、十分にシャトルを打つことのできない短時間で、最高のパフォーマンスが出来る身体を作り出す練習の一つで有るとも感じました。

Q3. ミスボン氏の指導技術の印象は？

ミスボン氏の見せるスイングは、全てにおいてがコンパクトで正確でした。それは、もちろん選手にも指導者にも求められます。ノックする側も、スイングを小さく、正確にシャトルを送り込む事を要求されました。

現在の自分の指導レベルを知りたくて、日頃自分たちがやっている練習を見てもらいました。ミスボン氏からは、練習内容、方向性とも良い練習メニューだと、褒めてもらえました。正直、嬉しかったですね。

Q4. 今回のマレーシア遠征の総評をお願いします。

この合宿は、ミスボン氏をはじめ、現地スタッフが私たち愛媛県選手団を温かく迎え入れてくださり、熱心に指導頂き、選手や指導者、私自身にとって、非常に重要な7日間になったと思います。本当に感謝の念でいっぱいです。また、我々にこのような機会を与えてくださった、愛媛県民の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。ここで得たものは、愛媛国体を成功させる為に、必ず役に立ちます。愛媛では、他の指導者の方にもこの貴重な経験を伝え、愛媛全体の競技力、指導力がレベルアップする事に繋げて行く所存です。



愛媛県バドミントン協会、平成26年度スタート！

平成26年3月22日に総会が開催され、平成25年度を締めくくるとともに、平成26年度に向けて、決算報告、行事予定、表彰、予算などの慎重審議が行われました。各種目の日程も決定されました。詳細は当協会のホームページをご参照ください。掲載されているデータはやむなく変更になる場合がございます。(http://www.dokidoki.ne.jp/home2/himebado/)



挨拶する瀧山副会長(中央)



審議を行う役員

2017年に開催予定の、えひめ国体を控え、昨年度は全日本シニアが愛媛県で開催されました。試合運営・審判員など、多大なるご協力を頂きました協会会員の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、下表は本年度の各種全国大会および国際大会の予定です。8月中旬には、全国中学生バドミントン大会、全日本高等専門学校バドミントン選手権大会等の全国大会が開催されます。大会期間中は審判員の不足が懸念されます。会員の皆様には重ねてご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度全国大会および国際大会予定表

7/2～6	第64回全日本実業団バドミントン選手権大会	香川県・高松市・坂出市
7/24～7/27	第32回全日本レディースバドミントン選手権大会	鹿児島県・鹿児島市
8/1～4	第30回若葉カップ全国小学生バドミントン大会	京都府・長岡京市
8/1～8/6	第65回全国高等学校バドミントン選手権大会	千葉県・千葉市
8/2～8/3	第2回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	神奈川県横浜市
8/10～14	第53回全日本教職員バドミントン選手権大会	東京都・葛飾区他
8/15～17	第15回全国小学生ABCバドミントン大会	熊本県・八代市
8/18～21	第16回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会	神奈川県・小田原市
8/19～22	第44回全国中学生バドミントン大会	愛媛県・西条市
8/23～24	第38回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会	愛媛県・松山市
8/29～9/3	第57回全日本社会人バドミントン選手権大会	福島県・郡山市
9/12～15	第33回全日本ジュニアバドミントン選手権大会	高知県・高知市・南国市
9/13～12/28	バドミントン日本リーグ2014	全国各地
10/24～30	第65回全日本学生バドミントン選手権大会	愛知県・一宮市
11/21～23	第13回日本バドミントンジュニアグランプリ2014	宮城県・仙台市
11/21～24	第31回全日本シニアバドミントン選手権大会	愛知県・刈谷市他
12/1～7	平成26年度全日本総合バドミントン選手権大会	東京都・渋谷区
12/12～14	第9回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)	滋賀県・大津市・草津市
12/25～29	第23回全国小学生バドミントン選手権大会	新潟県・新潟市
3/20～22	第15回全日本中学生バドミントン選手権大会	新潟県・新潟市
3/25～28	第43回全国高校選抜バドミントン大会	北海道・札幌市

5/24～28	日本ランキングサーキット大会	埼玉県・さいたま市
9/19～22	日本スポーツマスターズ2014バドミントン競技	埼玉県・久喜市
10/13～16	第69回国民体育大会バドミントン競技会	長崎県・長崎市

(国際大会)

4/2～6	大阪インターナショナルチャレンジ2014	大阪府・守口市
6/10～15	ヨネックスオープンジャパン2014	東京都渋谷区
10月23～26	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2014	大阪府・大阪市